

## ○「花」:学習プリント

※教科書(下)P, 4. ワーク(下)P, 28を参考にして記入しましょう。

♪この曲は明治(33)年(1900年)発表の組歌「四季」(花・(納涼)・(月)・雪)の中の曲である。

♪・次の歌詩の意味を記入しよう。 ☆歌詞を理解しよう。またどんな情景かを想像しよう。歌の楽譜の中の休符やリズムを意識してみよう。

「うらら」:(柔らかい日ざしを受けている)

「櫂」:(水をかいて船を進める道具)

「たとうべき」:(たとえたらよいのだろうか)

「見ずや」:(見てごらん)

「あけぼの」:(夜明け)

「錦おりなす」:(美しい織物のように見える)

「長堤」:(長い土手)

「くるれば」:(日が暮れると)

「げに」:(ほうとうに)

「一刻も千金の」:(ひとときさえもとても価値のある)

♪・作詞, 作曲者について調べよう。

○作詞者: 武島 羽衣 (1872 ~ 1967 年)

・出身地 (東京)

・有名な「美しき天然(天然の美)」の作詞者

○作曲者: 滝 廉太郎 (1879 ~ 1903 年)

・出身地 (東京)

・「花」のほか「荒城の月」, 「箱根八里」など多くの名曲がある。

☆また「鳩ぽっぽ」や「お正月」も作曲しています。♪

## ○学習プリント

♪※教科書（下）P, 15「My Voice!」を参考にして記入しよう。

- ・花の香りを かぐような感じで素早く吸う。
- ・ゆっくりと むらなく吐く。
- ・両足を 軽く開いて立ち、下半身を安定させる。
- ・背筋を まっすぐに伸ばし、上半身をリラックスさせる。
- ・おなかだけでなく、背中にも空気を入れるような感じで吸う。
- ・おなかの辺りに 息の「もと」を感じながら声を出す。
- ・眉や頬を上げて、左右の眉の辺りを意識し、そこに響きを集めるような  
感で声を出す。

☆姿勢を意識して歌う時の参考にしましょう。